

おじいさまのおうじさまの

ぶとうかいがあるときも

シンデレラにはドレスがないので

つれていってもらえません。

シンデレラはおいてけぼり。

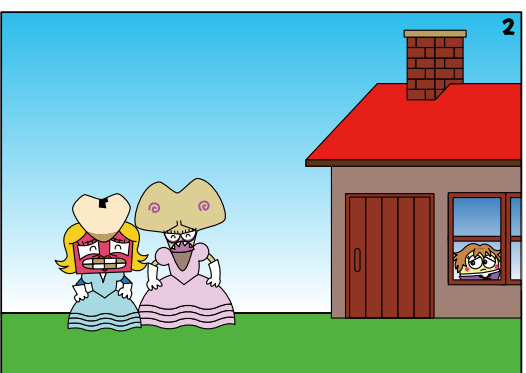
「いいなあ、わたしも

おうじさまとダンスがしたいなあ」

シンデレラがおおきな

ためいきをついた

そのときです。



たべたらいつも
 はみがきをわすれないシンデレラ。
 ごほうびにねがいをかなえてあげよう。
 まほうつかいがあらわれて、
 シンデレラにすてきなドレスとばしゅ、
 そしてきれいなハフラジを
 プレゼントしてくれました。

やうに

「12じのかねがなりおわるまでにはみがきしないと
 まほうはとけてしまうよ」

とこのついでにききました。



「なんてきれいなはなんだ」

おうじさまはおしろに

あらわれたシンデレラを

ひとめですきになって

しまいました。そつて、

「わたしとおどって

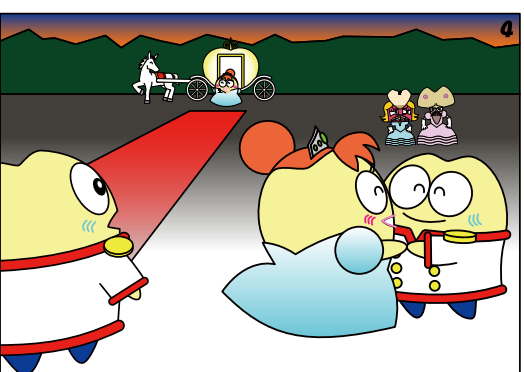
いただけませんか？」

と、ダンスにさそいました。

シンデレラは

しあわせなときを

すごしました。



ごーん、ごーん…
12じのかねが
なりはじめました。

「たいへん、

はみがきをしなくては…」

シンデレラは

おうじさまが

ひきとめるのも

きかずにはしい

さいました。

「このハズラシは…」

おうじさまは、

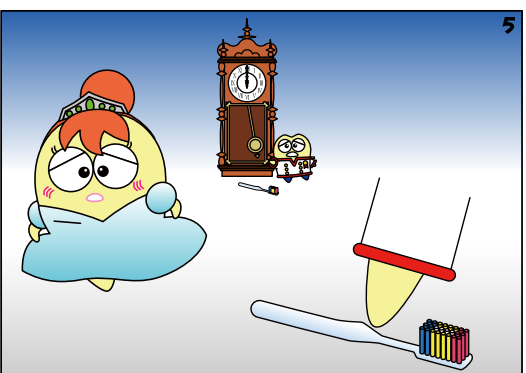
シンデレラが

おとしていった

ガラスのように

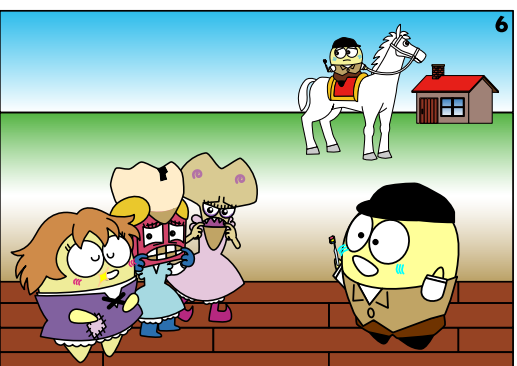
きれいなハズラシを

ひろいあげます。



シンデレラのついでが
わすれられないおうじさまは
あくるひからムスラジヤ
うつくしいはをこがかりに
くじゅううさがしまわりました。

そしてついで
シンデレラの
いえへ…。
おかあさんと
おねえさんは
むしぼだらけ。
でももっぴやりの
うつくしいはを
みておうじさまは
シンデレラに
きづきました。



おうじさまは

すぐに

シンデレラに

プロポーズしました。

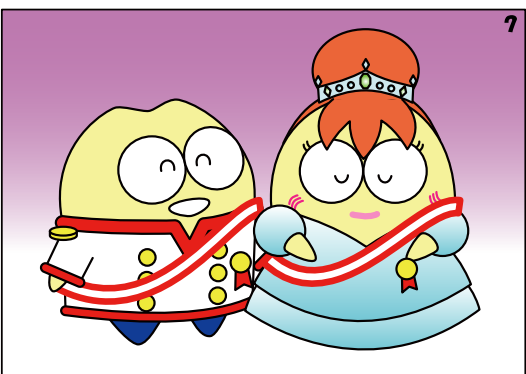
そして

シンデレラは

おしろいで

おうじさまを

しあわせにくらこました。



はみがきの

たいせつさをした

おかあさんと

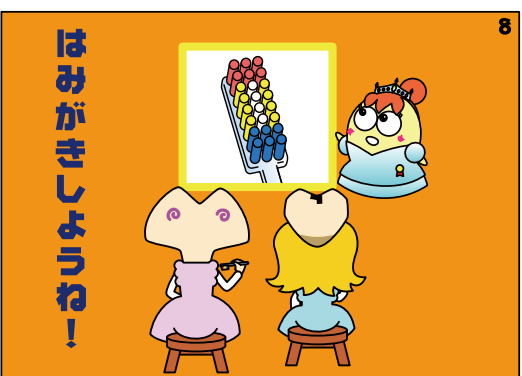
おねえさんは…。

はみがきじょうずな

シンデレラに

はみがきのしかたを

おしえてもらっていました。



シンデレラの

おかあさんとおねえさんは

シンデレラにいじわるばかり。

ふたりはあまいおかしが

だいすきですきなじかに

すきなだけたべていました。

シンデレラがはみがき

しているときもふたりは

おかしばかりたべています。

